

水洗化にご協力ください

市内では平成25年度末現在、72.3%の皆さんが水洗トイレなどを設置して水洗化をしています。

家庭から生活排水を側溝に流したり、汲み取り式のトイレのままであったりすると、蚊やハエなどの発生や悪臭の原因となります。水洗化することで、トイレ、台所、風呂、洗濯機などで使った汚れた水がきれいな水に戻り、川や海に流せるようになります。

また、地域の環境衛生の改善や水質の保全が図られ、上水道や農業用水なども安心して使えるようになります。

より快適で衛生的な生活を送るためにも水洗化へご協力をお願いします。

❖水洗化をするためには 処理方法の確認

地区によって公共下水道・農業集落排水・浄化槽の三つの処理方法があります。お住まいの地区がどの処理方法に該当するかは下記までお問い合わせください。

■排水設備工事の施工

生活排水を下水道などへ排出する宅地内の排水管や汚水ますなど、排水設備といえます。

水洗化する場合は、各個人で排水設備工事を行っていただくこととなります。この工事は、現在、市内外合わせて197社ある市指定の工事店のみが施工できます。

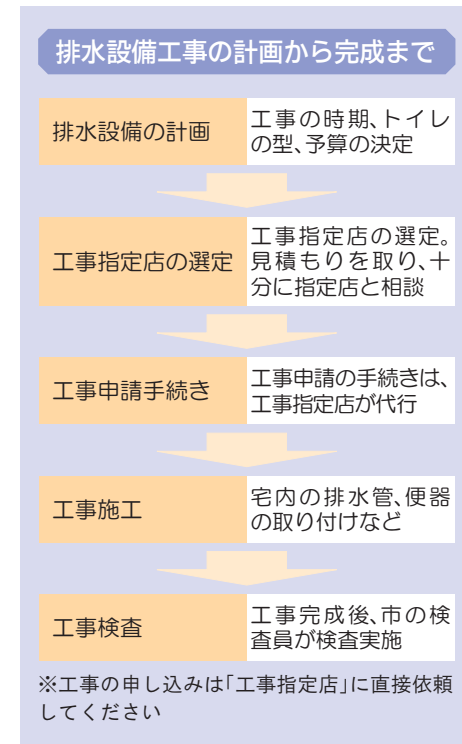
❖水洗化支援制度(左記参照)

①融資あっせん和利子補給制度
水洗トイレへの改造や排水設備工事を行う個人に対して、市が各金融機関の融資のあっせんを行います。また、融資額に対する利子を市が全額補給します。

②私設汚水管設置費補助金制度
個人で設置する排水設備の設置費に対して補助する制度です。公共下水道の処理区域内で供用開始から3年以内に接続しようとする

人が対象です。

③低地対策ポンプ施設設置工事費補助金制度
土地が低いために公共下水道に接続できない建物の所有者が、汚水ポンプ施設を設置する場合、工事費の一部を助成します。



《水洗化支援制度の概要》

①融資あっせん和利子補給制度	
対象工事	・汲み取り式トイレを水洗トイレに改造する工事 ・排水設備の設置および改造工事
融資あっせん額	・1戸建て住宅:130万円を限度 ・共同住宅:一世帯につき50万円を限度
償還方法	融資を受けた翌月から毎月元金均等月賦償還(償還期間4年以内)
利子補給	融資額の利子は、金融機関に対し、市が全額補給
その他	工事指定店が代行して事務を行います。個人で事務を行う場合は、工事申請までに市に申し込みをしてください

②私設汚水管設置費補助金制度	
対象者	公共下水道の処理区域内で供用開始から3年以内に下水道へ接続しようとする人
補助対象	個人で設置する排水設備のうち、30cmを超えた長さ(1cm未満切り捨て)
補助金額	1cm当たり4千円を限度。総額は25万円を限度

③低地対策ポンプ施設設置工事費補助金制度	
対象者	公共下水道の処理区域内で低地に建物を所有し、汚水を排除するポンプ施設を設置しようとする人
補助対象	ポンプ施設を設置するための工事に要する経費
補助金額	経費の10分の7に相当する額以内。30万円を限度

3月1日(日)～7日(土)は春の全国火災予防運動週間

『もういいかい 火を消すまではまあだだよ』

【問い合わせ】消防本部予防課(☎22-6123)

市内では、昨年1年間に56件の火災が発生し、3人が亡くなり、10人がけがをしました。春は、空気が非常に乾燥するため、ちょっとした不注意から火災が発生しやすくなります。日ごろのちょっとした心掛けで火災を防ぎ、被害を最小に抑えることができます。火災防止や命を守るために、次の七つのポイントを確認しましょう。

《住宅火災、いのちを守る七つのポイント》

■三つの習慣

○寝たばこはしない

○ストーブは燃えやすいものから離して使用する

○ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す

■四つの対策

○逃げ遅れ防止のため、住宅用火

災警報器を設置する
※全ての住宅に火災警報器の設置が義務付けられています

○寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐために防火品を使用する

○火を小さいうちに消すために、住宅用火災警報器を設置する

○高齢者や体の不自由な方を守るために、近所との協力体制をつくる

●平成26年の火災発生概要

区分	平成26年	前年比
火災発生件数	56件	+4件
建物火災	30件	+8件
林野火災	6件	-4件
車両火災	2件	-5件
その他火災	18件	+5件
死者数	3人	+2人
負傷者数	10人	+7人

電気器具からの火災にご注意!

❑電気器具からの火災が増加

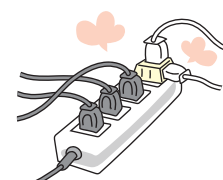
毎日、便利で快適な生活をするために、電気の使用は欠かせません。

しかし、電気器具を使用するときのちょっとした不注意や、誤った使い方が恐ろしい火災につながることを忘れてはいけません。

❑電気器具からの火災を防ぐために、次のことに注意してください

●たこ足配線をしていませんか

一つの電源からいくつも電気器具を使用すると、テーブルタップのコードが熱くなり、火災が発生する場合があります。



●コンセントにほこりがたまっていませんか

長期間差したままのコンセントの接続部分周辺にほこりがたまり、湿気を吸収。その状態のまま通電を繰り返すことで出火することがあります(トラッキング火災)。

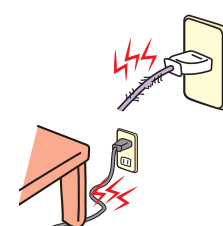


掃除の際にプラグを引き抜いて、プラグの汚れを

拭き取りコンセントのほこりを取り除きましょう。また、絶縁カバーや、コンセント内へのほこりの侵入を防ぐためのシャッターが付いたテーブルタップ、既存のコンセントに付けるトラッキング防止キャップなどの使用も効果的です。

●傷んだコード、古いコードを使っていませんか

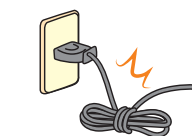
コードの上に重いものを乗せているとコードが傷つき、電気がショートすることがあります。



また、古くなったコードは弾力が無くなり傷つきやすくなっています。

●長いコードを束ねて使っていませんか

長いコードを何重にも束ねたまま使用すると、熱を帯びて被膜が溶けショートすることがあります。



●電気ストーブの取り扱いに注意しましょう

電気ストーブは小さくて移動に便利ですが、転倒しやすいので安定した場所で使用しましょう。また取扱説明書をよく読むとともに、周辺の整理整頓を心掛けましょう。